

9月17日に実施する『六甲山フォーラム』のプログラムの中で予定している住吉中学校生徒による発表にあたり、近年の自然災害(特に土砂災害)の減災に向けて、中学生の役割等を考えるために、**リーダー研修**を開催しました。

研修では、熊本地震被災者の体験談や六甲砂防事務所から土砂災害に関する説明を行い、その後グループ単位で意見交換し、出た意見についてグループごとに発表していただきました。

## 概要

日時：平成28年8月23日(火) 9:30～12:00  
 場所：甲南大学「平生記念館」2F大ホール  
 参加：神戸市立住吉中学校  
         生徒 116名  
         先生 30名

## (研修の主な流れ)

- ・研修趣旨説明
- ・熊本地震体験者による説明
- ・六甲砂防事務所説明「防災について」
- ・グループディスカッション(10班)
- ・グループ単位で発表

## ○研修概要

リーダー研修は進行・司会も中学生が中心になって行い、熊本地震体験談や土砂災害の説明に対して、多くの質問ができました。また、その後の発表についても各グループによる活発な意見交換がされ、発表がされました。

### (主な質問)

- (熊本地震では)避難場所で動いていた学生はどのくらいいたのか?  
 →避難した箇所には約100人の学生がいたが、そのうち50名程度が動いてくれた。
- 堰堤を造るのはどのくらいの期間かかるのか?  
 →規模によって様々であり一概にはいえないが、用地買収もいれると数年以上かかる。

### (発表での主な意見)

- 日頃からの地域とのつながりが大切である。
- 防災マップを意識しておくなど、常に備えることが大切である。
- まずは自分自身を守ることが必要。その後は自分ができることをやっていく。

### 『六甲山フォーラム』について

土砂災害被災地域の教訓について学び、いかに六甲山麓地域における土砂災害への警戒意識を育み、今後の「森づくり活動」をさらに継続・発展させていくかについて、市民の皆様と意見交換を行い、地域防災力の向上を図ることを目的として開催します。

日時：平成28年9月17日(土) 13:00～16:10

会場：甲南女子大学 芦原講堂

参加申し込みはこちら↓

<https://sanka.sabopc.or.jp/>



熊本地震被災体験の説明



グループディスカッションの様子



発表の様子(グループ単位)

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
 TEL：078-851-0535

